

# 第86回

応用物理学会秋季学術講演会 シンポジウム (T12)

# 幅広い波長域の光を駆使する研究の最前線 -X線からテラヘルツまで-

2025 9/8 MON 13:30 ▶ 17:30 (予定)

録画配信予定

## 開催趣旨

国内外において、自由電子レーザーや第4世代放射光などの大型施設の建設、超短パルスレーザーのユビキタス化などが進んでおり、様々な波長の光源を使いこなすことが研究者にとって必須となっている。その一方、波長ごとに実験の環境や方法が異なることも多く、新しい研究分野への参入の妨げとなっている。本シンポジウムでは、X線からテラヘルツまでの幅広い波長における最先端の研究と、汎用装置でのカバーの現状を紹介する。研究者が幅広い波長域の光を使いこなす手助けとし、新しい研究分野が誕生する契機としたい。

## 招待講演

久保田雄也 (理研放射光)

岩澤 英明 (QST)

伊藤 弘毅 (関学大理)

永井 正也 (阪大基礎工)

木村 健太 (阪公大工)

深澤 亮一 (スペクトルデザイン)

X線自由電子レーザーを用いた非平衡物性研究

放射光とレーザーを活用した空間分解光電子分光の進展

電子強誘電分極ドメインの巨大テラヘルツ応答と動的マッピング

高フルエンステラヘルツパルスを用いた物性制御

電気磁気光学効果を利用した可視光・近赤外光による反強磁性ドメインの可視化

テラヘルツ波技術の進展と応用の広がり -分光・イメージングを中心に-

## 世話人

和達 大樹 (兵庫県立大学)

佐々木 拓生 (QST)

